

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例（土佐町（とさちょう））

◆コンセプト：

誰一人取り残されない全員参加のSDGsまちづくりプロジェクト

<特徴>

全世代・全員活躍のまちづくりを、町が推進するSDGs「誰ひとり取り残されない」取り組みに位置付け、持続可能な土佐町の実現に向けて強力に推進する。

土佐町では、「住民幸福度とSDGsに基づく“誰ひとり取り残されない”持続可能なまちづくり」を推進しており、2020年度には高知県で初めて「SDGs未来都市」に選定をされた。SDGsの考え方を取り入れた「第7次土佐町振興計画（総合計画）」に基づき、持続可能な水源のまちづくりをの実現を目指している。

土佐町が今後も持続可能であるためには、人口減少下であっても、全ての町民等が生き活きと活躍できる町であることが必要であり、年齢や障害の有無、性別に関わらず、全世代・全員が活躍できるまちとしていかなければならない。

このため、地域再生計画「誰ひとり取り残さない全員参加のSDGsまちづくりプロジェクト」では、地域への人の流れをつくる取組（移住・関係人口）と、誰もが居場所と役割がある地域づくりを一体的に推進することとしている。



基礎データ

- ・人口：3,750人（2021年国政調査）
- ・面積：212.13km²
- ・四国の水瓶と呼ばれる西日本最大級の「早明浦ダム」がある水源のまち。
- ・基幹産業は第1次産業：棚田での水稻、土佐あか牛の産地、林業（森林率86%）



◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・集落活動センター（小さな拠点）やあったかふれあいセンター事業を通じた多世代の集いの実施

【今後の展開】

- ・高等学校魅力化事業等とも連携。探究学習の機会を通じた地域住民との交流や、学生と地域住民が共に学ぶ機会の創出（「とまり木の分校」事業）

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・集活センター等において、旧小学校区単位で、地域での生業や仕事づくりを推進

【今後の展開】

- ・交流事業や関係人口創出事業を通じ、集落活動センター等と都市圏企業が連携した事業創出、新商品開発等の実施。関係人口から活動人口形成。

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・あったかふれあいセンター事業を通じ、旧小学校区での介護予防や健康寿命延伸の取組を実施

【今後の展開】

- ・土佐町スポーツコミッションにおけるスポーツ健康まちづくり事業の実施。
- ・これまでに引き続き、あったかふれあいセンター事業の実施。

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- ・空き家耐震改修事業等の推進
- ・地域の医療機関が、CLT工法のサービス付高齢者住宅を設置

【今後の展開】

- ・若い世代のニーズ等も把握をしながら今後の住宅等需要を見定めるとともに、PPP/PFIを活用した住宅施策など、必要な住宅整備については検討を進める。

コミュニティへの人の流れ

- ・地元NPOと引き続き連携をしながら、町の強みである移住促進施策を推進。特に子育て世代の移住促進を進める。
- ・地方創生テレワーク事業とも連携をさせながら、都市圏企業やテレワーカー等の関係人口創出と、それを通じた地域の活性化を推進

その他特徴的な取組

- ・SDGs未来都市の取組とも連携をさせながら、「持続可能なまちづくり」の一環として、全世代・全員活躍を推進。

